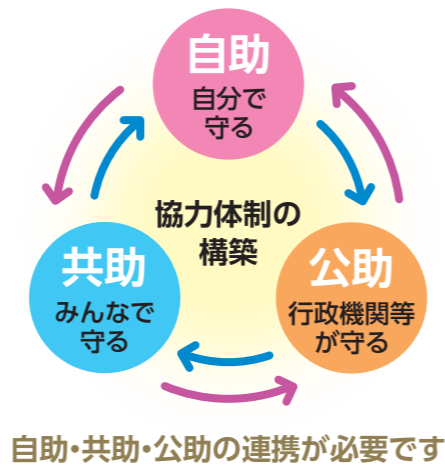


自助・共助・公助

自助・共助・公助とは

災害に対する予防・応急対応、復旧・復興には、住民の皆様と行政機関等がそれぞれ役割を果たし、協力・連携して対策に当たることが大切です。特に被害を最小限に抑えるためには「自助・共助・公助」の効果的な組み合わせが重要です。

- 自助** 「自分の身は自分で守る」
飲料水、食料等の備蓄、防災知識、技術の習得、危険回避のための自主避難など、普段からの災害に対する準備。
- 共助** 「互いに助け合い、被害を減らす」
自主防災組織の結成、活動の促進、訓練への参加、相互協力体制の推進。
- 公助** 行政機関(町、県、国、消防、警察、自衛隊など)の活動。各機関とも災害の発生からできるだけ早く応急対応活動にあたるよう備えています。



自主防災組織の協力

- **自主防災組織とは**
地域住民が連携し自主的に防災活動を行う組織のことをいいます。
- **平常時の活動**
 - ① 防災知識の普及啓発
 - ② 防災訓練や地域の防災安全点検の実施
 - ③ 防災資機材の備蓄
- **災害時の活動**
 - ① 地域住民への避難の呼びかけ・誘導
 - ② 負傷者の救出・救護
 - ③ 初期消火活動
 - ④ 避難所の運営

特に大地震のような大規模な災害時は、交通網の寸断、通信手段の混乱、同時多発の火災などで、消防や警察なども、同時にすべての現場に向かうことはできません。そのような事態に備え、地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。

あなたとあなたの町を守るために自主防災活動へ積極的に参加し、

「災害に強いまち三宅町」
を作りあげましょう。



三宅町では全自治会において自主防災組織が活動されています。

洪水浸水想定区域図

洪水浸水想定区域図とは

洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保するため、洪水により相当な被害が生ずる恐れがあるものとして指定した「水位周知河川」等において、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と水深を示した図です。

降雨条件が12時間総雨量 316mmのときの大雨を想定した結果にもとづいており、想定を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

大和川水系大和川、曾我川、葛城川、飛鳥川及び寺川の5河川の浸水する範囲を重ね合わせた最大値を表示されるように作成しました。

洪水浸水想定区域図の内容



- **想定最大規模**
県内の水位周知河川について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- **浸水継続時間**
県内の水位周知河川について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による浸水継続時間を表示した図面です。
- **家屋倒壊等氾濫想定区域[氾濫流]**
県内の水位周知河川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)のうち、氾濫流による家屋倒壊・流出等の危険性を表示した図面です。
(例)
- **家屋倒壊等氾濫想定区域[河岸侵食]**
県内の水位周知河川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)のうち、河岸の侵食幅を予測したものを表示した図面です。
(例)